

八頭町男女共同参画リーダー研修

日本女性会議 2022 in 鳥取くらよし



10月28日(金)から3日間の日程で、倉吉未来中心を主会場に「日本女性会議2022 in 鳥取くらよし」が開催されました。鳥取県での開催は初めて。「Smile in くらよし」をテーマに、男女共同参画社会の実現に向けた課題解決や倉吉の魅力発信、参加者同士の交流を目的に、分科会や特別講演、記念シンポジウムなどが実施されました。八頭町からは、男女共同参画リーダー研修として12人が参加しました。研修の報告をご紹介します。



男女共同参画推進会議 会長 中村 恵子さん

弱者になっても安心して
生きられる社会を

記念シンポジウムでは、鳥取大学地域学部地域創造コースの女子学生3人が「弱者が弱者のまままで尊重される社会」をテーマに、「ひとりでも生きていけそう」と言われた経験から、家庭・地域の中で、辛い思いをした経験や矛盾に思うこと等を発表しました。パネリストの東京大学名

誉教授上野千鶴子さんから一人一人にアドバイスがあり、学生と上野さんのデイスカッションが続きました。その中で、「女性の我慢、自己犠牲が続けば、現状は変わらない。次の世代に同じことが起きる」と話されました。「フェミニズムとは男女両方の平等権利を与えられる運動であり、弱者になっても安心して生きられる社会をつくることだ」という言葉が私の心に深く残りました。今大会で学んだことを胸に、今後とも家庭・地域の中で男女共同参画推進を私なりに無理をせず進めていきたいと思えます。特別講演として、俳優でタレントの上地雄輔さん、元大関琴奨菊秀ノ山親方のトークショーも楽しみました。



男女共同参画推進会議 森下 恵子さん

我慢しない女性が
世の中を変える

コロナ禍の影響を受け4年ぶりにリアル開催された本大会の全体会に参加しました。

記念シンポジウムでは、鳥取大学女子学生3人が登壇しました。大学でフェミニズム(男女同権主義に基づく女性の権利拡張の思想と運動)について学びを深め、「弱者が弱者のまままで尊重される社会とは？」をテーマに研究。その成果を発表しました。それぞれが自身の生い立ちを振り返り、揺れ動く感情や矛盾、疑問について自己分析し、今後生きていく社会について熱く語りました。パネリストの東京大学名誉教授上野千鶴子さんは学生らを称え、丁寧にアドバイスをされました。「わがままと権利主張の境界線はどこ?」という学生からの質問に対して、上野さんは、「境界線はない。我慢しない女、欲張りな女が世の中を変え

てきた。女性が我慢し被害者であり続けると、その状況が次世代にも引き継がれる。変えていきましょー」と鼓舞されました。

学生らが参加者にありのままの自分を伝え、深く考え、未来に向かって力強く進んでいこうとする姿は頼もしく、感銘を受けました。誰もが暮らしやすい世の中となるよう、気づき、学び、行動していくことの大切さを再認識しました。未来を託す子どもや若者も参加し、男女共同参画について学び、交流できた本大会は大変有意義でした。



鳥取大学の学生3人とオンラインで対話する上野さん

問い合わせ

男女共同参画センター

☎ 84-2361